岩見沢市の主な地方創生プロジェクト（寄附対象事業）

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）は、企業が地方公共団体の地方創生の取り組みに対して寄附を行った場合に法人関係税を税額控除するもので、企業として地域振興やSDGsの達成などの社会貢献ができるほか、法人税の高い軽減効果を受けられるメリットがあります。
岩見沢市では、次のような「地方創生プロジェクト」に活用するため、企業の皆さまから企業版ふるさと納税による寄附を募集しています。

※掲載事業は一例です。その他にも対象となる事業がありますので、詳細は企画室（裏面参照）までお問い合わせください。

岩見沢市の目指すまちづくりの取組み「第２期岩見沢市総合戦略」や各事業の詳細については、市ホームページをご覧ください。

岩見沢市総合戦略

令和４年度予算
重点分野の取組み

安定した雇用を創出するとともに、経済を支える人材を育て活かす

主な事業　　関連するSDGsのゴール

◆農業ＤＸ推進事業
専門家や農家を中心とする協議会と企業等との連携によるマーケティング分析に基づき、必要な情報の捕捉のほか、新規作物導入における生産基盤の最適化を目指し、栽培作物に適した土壌構造、施肥体系を確立します。

◆創業支援事業
創業支援に関する相談窓口を設置し、創業希望者への支援を行うとともに、創業に必須となる知識を習得できる「創業塾」を開催するほか、創業者同士の情報共有を促進し、事業継続を支えるとともに、事業拡大や後継者対策等に取り組む企業向けのセミナーを開催するなど、商工業の活性化と雇用の創出を図ります。

GPSによりトラクターの無人走行
（農業DX推進事業）

◆中心市街地活性化対策事業
中心市街地における空き店舗への新規出店と魅力向上に取り組む既存店舗の改修に対する支援を行うことにより、中心市街地の活性化と雇用の創出を図ります。
商店街や市民団体などが取り組むイベント等に対する支援や、まちなかでの集客施設の整備に対する支援を行うことにより、中心市街地の活性化を図ります。

◆プレミアム付建設券発行支援事業
市内建設業の受注機会の確保と持家に居住する世帯の定住促進を図るため、プレミアム付建設券を発行する団体等に対する支援を行い、地域経済の好循環を促進します。

補助金を活用したイベントの様子
（中心市街地活性化対策事業）

◆新規就農・農業後継者育成支援事業
地域における農業を維持・発展させるため、市の新規就農サポート事業や新規参入支援事業、国の農業次世代人材投資事業による支援を行うことにより、農業の担い手となり得る農外からの新規参入者を中心とした新規就農者の育成・確保を図ります。

◆職業能力向上事業
人材育成に取り組む中小企業を支援するため、岩見沢地方高等職業訓練校（市職業訓練センター）が行う認定職業訓練を受講する従業員の勤務先に交付される国の助成金に、市が上乗せして助成を行うことにより、技能者の育成と安定した雇用、技術力の向上による地元企業の経営基盤と競争力の強化を図ります。

結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

主な事業　　関連するSDGsのゴール

◆子育て総合支援センター事業
安心して出産し、子育てに喜びや幸せを感じることができるよう、子育て支援センターを拠点とした子育て相談、虐待等に関する相談を行うほか、子育てに関する各部門が連携したワンストップの子育て支援を推進します。

◆あそびの広場運営事業
子育て支援拠点「こども・子育てひろば『えみふる』」の中心にある屋内型の遊び場「あそびの広場」における子どもの成長に応じた安全な遊び・交流を提供します。

屋内型プレイグラウンド
「あそびの広場」
（あそびの広場運営事業）

◆教育支援センター事業
教育支援コーディネーターを相談窓口として、関係機関や専門スタッフと連携しながら、保護者や学校に対する教育相談、子ども達への登校支援を行うなど、児童生徒、保護者、学校等に必要な教育的支援を行い、問題の未然防止や早期解決を図ります。

◆保育所入所運営事業
女性の社会参加などに対応できる保育サービスの量を確保するため、社会福祉法人等が行う施設整備事業等に対する支援を行い、質の高い保育環境を確保するとともに、仕事や家庭の両立支援による働きながら子育てできる環境づくりを推進します。

アールブリュットギャラリー
（共生のまちづくり推進事業）

◆子ども・子育て支援事業
保育園の開始前や終了後の預かり、放課後児童クラブ終了後の送迎、買い物等の外出時や病児・病後児に対応した預かりなど、子どもを預けたい人と援助したい人を募集し、相互の援助活動の連絡・調整を行うことにより、安心して子育てできる環境づくりを推進するとともに、地域で子育てをする意識の醸成を図ります。

◆共生のまちづくり推進事業
社会参加しやすい環境を整備し、障がいのある人が安心して暮らせる共生のまちづくりを推進します。また、アール・ブリュット展の開催などを通じて、市民の障がいへの理解を深めるとともに、互いに支え合う共生社会の実現を図ります。

新しい「ひとの流れ」をつくる

主な事業　　関連するSDGsのゴール

◆教育大学連携事業
北海道教育大学岩見沢校との連携により有明交流プラザ内に設置しているi-BOXをはじめ、市内全域を学生の活動フィールドと捉え、学生が地域で行う活動を支援することにより、市民と学生の交流機会の拡大や地域と学生の結びつきの強化を図るとともに、市民が芸術文化・スポーツに触れる機会の創出と学生の定住や地域との交流の継続、将来のＵターンにつなげる素地の醸成を図ります。

「i-BOX」での学生作品の企画展
（教育大学連携事業）

◆観光振興戦略推進事業
岩見沢市観光振興戦略に基づき、地域資源を活かした体験型観光商品の充実を図るとともに、観光協会のＤＭＯ体制の確立と強化、観光情報の発信力の向上により「稼ぐ観光」の進化を継続して進めます。

◆芸術文化スポーツ交流創出事業
人口減少が著しい東部丘陵地域（宝水・上志文・宮村・朝日・清水・奈良・美流渡・毛陽・万字地区）において、地域住民や北海道教育大学岩見沢校等と連携しながら、「旧美流渡中学校校舎」の利活用をはじめとした事業活動を展開するなど、地域特性である芸術文化・スポーツを核として、交流人口・関係人口の創出・拡大と同地域の振興を図ります。

自然を活用したアクティビティ
（観光振興戦略推進事業）

◆シティプロモーション推進事業
様々なメディアを活用した効果的な情報発信を行うことにより、岩見沢市での生活のイメージを身近に感じ、まちの魅力を知る機会を提供し、岩見沢市に関心を持つ市外在住者やまちづくりに興味を持つ市民の裾野の拡大を図り、子育て世代を中心とした移住及び定住を促進します。

安心して暮らすことができる地域をつくるとともに、新しい時代の流れを力にする

主な事業　　関連するSDGsのゴール

◆健康経営都市推進事業
「人もまちも元気で健康」な地域社会の形成に向けて、生活・健康づくりサービスの提供基盤の構築や、「農・食・健康」の連動による産業の創出、北海道大学ＣＯＩとの連携など、産学官金が一体となって市民の健康を支えるコミュニティを推進します。

備蓄品を活用した防災訓練
（防災対策事業）

◆高齢者・障がい者の冬のくらし支援事業
岩見沢市社会福祉協議会と連携し、町会等における除雪ボランティア活動を支援するとともに、屋根の雪下ろしや間口除雪等を自力で行うことが困難な高齢者・障がい者世帯等に費用の一部を助成し、冬期間における日常生活の安全の確保を図ります。

◆防災対策事業
市民が自らの判断で早期に避難行動をとることができるよう、適切なタイミングで災害情報を発信するとともに、情報伝達手段の多様化を図ります。
また、市民参加の防災訓練などを通じて、防災意識の向上と共助による地域防災体制を構築するほか、安心して暮らすことができる災害に強いまちづくりを推進します。

◆地域イノベーション推進事業
地域が持つ特性や資源などを用いて、より良い地域に変えていく「地域ＤＸ」を目的に、地域の持続性の確保に向けた新たな社会基盤に関する環境形成を目指し、新たな資本循環の形を構築するとともに、「スマート・アグリシティ」の実現に向け、大学や研究機関、企業、市民が集い、研究・開発を進める「地域Ｒ＆Ｄ拠点機能」の形成に向けた取組みを進め、地域において様々な主体が担い手となる新たな公共的サービスが生み出される環境を構築します。

※各事業の実施状況等は掲載時より変更となっている場合があります。